

## 「デジタル社会」の構築に向けて

経済産業省中国経済産業局  
地域経済部長 鈴木浄博

(一社)日本建設機械施工協会中国支部の会員の皆様方には、平素から経済産業行政の推進に対し格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、今夏の大雨で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた全ての皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。中国経済産業局といたしましても、被災された事業者の皆様のご一日も早い復興支援に取り組んで参ります。



今年、新型コロナウイルスの感染拡大で延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。緊急事態宣言下であり、かつ、無観客という異例の開催にも関わらず、公式ウェブサイトの累積訪問者数が約1億9,570万人となるなど(9/5時点)、人々がデジタルで大いに繋がり、オリンピック・パラリンピックの魅力と価値を直接共有することができたという点で、改めてデジタルの力の大きさを認識しています。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、世界経済は戦後最悪の落ち込みとなりました。我が国では、引き続き、この未曾有の危機を乗り越えるため、感染症の影響により厳しい状況にある業種に対しましては、足下で必要な事業継続・事業再構築等のための支援を着実に実施しているところです。

一方で、コロナ禍を経て、環境やグローバル市場などにおける課題への対応が、底堅い需要として新たなビジネスニーズとなっており、中長期的な成長分野となっています。こうした状況を踏まえ、我が国としても、新たな付加価値を獲得し、成長し続けられるような産業構造に転換していく必要があります。

このため、経済産業省では、カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の促進として蓄電池や水素、洋上風力などの重点分野における研究開発・設備投資等を進めるだけでなく、「デジタル」前提の経済・社会運営に向けて、デジタルトランスフォーメーション(DX)のためのデジタルインフラ整備、次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発、次世代モビリティ技術開発やデジタル人材育成などにも取り組んでいきます。

地域においては、地域企業のデジタル化・DXを地域ぐるみで支援する体制の整備を促進するとともに、地域の特性・強みとデジタル技術を掛け合わせた新たなビジネスモデルの構築支援、脱炭素化・デジタル化等の社会変化を踏まえた事業再構築、革新的な製品・サービス開発、生産プロセス改善にかかる設備投資の取組を支援します。

建設機械施工分野においても、カーボンニュートラルの実現に向け、ICTを活用した更なる施工の効率化・高度化や、建設機械の電動化など革新的な建設機械の導入拡大が求められています。

(一社)日本建設機械施工協会中国支部の皆様方におかれましても、経済産業省を始めとする国や自治体による施策をご活用いただき、建設機械施工分野におけるデジタル化・省エネ化及び生産性向上に引き続き積極的に取り組まれることを期待しています。

## 令和3年度 新技術・新工法(ICT活用)研修

(一財)山口県建設技術センター主催で、7月27日～28日の日程で山口県セミナーパークを会場にして新技術・新工法(ICT活用)研修が開催されました。

研修は、山口県及び市町の土木技術職の職員だけでなく他職種の職員も含め27名が参加しました。

研修の内容は、以下のとおりでICTを中心に据えて概要から実務・実技へと幅広い内容で構成されています。研修の講師は、山口県の職員並びに当協会の施工技術総合研究所と中国支部会員が担当しました。



PCを使った実習状況

- ・ i-Constructionとは～ICT活用工事の最新の動向～
- ・ 三次元計測技術
- ・ 三次元計測技術実習
- ・ ICT建機施工
- ・ 三次元設計データ作成・点群データ実習
- ・ ICT土工の監督・検査要領
- ・ ICT土工の監督・検査の実体験



三次元計測技術実習(地上型レーザースキャナー)



ICT土工の完成検査の実習

今回の研修では、ICT施工の一連の流れに沿ったカリキュラムとし、まず「触れる・知る」をテーマに研修内容を構成したところ、受講者からも「理解しやすかった」との声を頂くなど、好評を得ることができました。

また、研修を通じて以下の改善点も見えてきたことから、次回以降の研修に反映させていきたいと考えています。

- ・ 開催時期を秋以降にして、実習時間を増やす(夏場の暑い時期では、十分な実習時間を確保が困難)
- ・ 発注者側として必要な知識、情報に関する研修を増やす
- ・ CIMの普及状況を見極めて研修内容に加える
- ・ 各講義で重複した部分をなくす

当協会中国支部では、今後も引き続き国や地方自治体のi-Construction活用のため普及活動や研修を支援していきますので、ご関心がある場合は当協会中国支部の事務局までお問い合わせください。

# 令和3年度国土交通功労者「優良工事施工団体」「優秀建設技術者(工事)」受賞報告

## 「大橋川上追子川排水機場機械設備新設工事」

(株)荏原製作所



上追子排水機場外観※



本工事で増設したポンプ設備

### 1. 背景

島根県松江市は古くから河川やお堀による舟運が発展した街で、水の都とも言われています。

しかし、松江市橋北地区は市街地周辺の農地等、低平地を利用した宅地化が急速に進み、大雨が降ると排水機場の能力が追いつかず浸水被害が発生するなどの課題が生じていました。

工事は、大雨による浸水の内水被害の軽減を図ることを目的とし、排水ポンプを増設（立軸軸流ポンプ×1台（Φ1350mm×5m<sup>3</sup>/s×280kW））するもので、排水能力は従来機排水機場の約2倍となりました。

### 2. 工事概要

本工事は、大橋川改修事業に伴い大橋川の支流河川の剣先川と上追子川の合流部に新設された排水機場に増設ポンプ設備を設置する工事です。工事施工に当たっては、別途発注された既設ポンプ設備の移設工事や排水機場周辺河川工事との錯綜作業となることと、排水機場上屋内の狭隘な施工ヤードや河川内での工事であることから安全面や環境面でも配慮が必要となりました。



上追子排水機場 工事状況（令和2年1月撮影）※



ポンプ設備の配置状況※

そこで、国・県・市や工事関係者が一緒になって綿密に現場調査を行い、安全かつ適切な施工手順を立案し工事を進めました。また、環境面では、地元漁協との順守内容を確実に履行することで河川環境への影響を防止に努めたことにより、工期内（平成30年11月27日～令和2年12月28日）で、円滑に工事を完了することができました。

本工事においては、安全管理やその活動を積極的に実践した点、現場運営に関して創意工夫を行った点、大容量・高効率設計などの高度な技術で事業に貢献した点が評価され「優良工事施工団体」と「優秀建設技術者(工事)」(優秀建設技術者名：才田哲治)の2部門で表彰に至りました。

当社では、排水能力を向上させたポンプの開発や、メンテナンスが容易な設備やサービスの提供を通じて、今後も社会インフラの強靱化を支えてまいります。

(※：写真提供 中国地方整備局出雲河川事務所)

## 新入会員紹介



株式会社 **福田組**

<https://www.fkd.co.jp/>

広島営業所

〒732-0052 広島県広島市東区光町2-7-35  
TEL：082-264-7874  
FAX：082-506-0220

新潟本社

〒951-8668 新潟県新潟市中央区1番堀通町3-10  
TEL：025-266-9111  
FAX：025-266-5591

## お知らせコーナー

### 今後の行事予定

日時	区分	行事名	内容	備考
令和3年 11月5日(金)	講習会	令和3年度 除雪機械の運転技術講習会 会場：島根県松江県土整備事務所 広瀬土木事業所	除雪機械に関する基礎知識、安全作業・事故防止に関する留意事項の講義及び実施指導を通じて、安全で効率的な除雪技術の習得が目的。 実習に使用する機種：凍結防止剤散布車、除雪トラック、除雪ドーザ、除雪グレーダ、ロータリー除雪車、小形除雪車（歩道用）	除雪作業 及び 機械整備 関係者
令和3年 11月8日(月) 9日(火)	講習会	DX・i-Con体験セミナー 会場：広島県立産業技術交流会、 広島YMCA及びメッセ・コ ンベンション等交流施設用地	建設現場の生産性向上並びに働き方改革で活用可能なDX・i-Conツールを実際に体験してもらうことで、i-Constructionへの理解・普及向上に繋げる。 ・11/8(月) 発注者向けセミナー ・11/9(火) 施工者向けセミナー	官公庁 会 員 及 び 一 般
令和3年 12月10日(金)	意見 交換会	中国地方整備局との意見交換会	中国地方整備局と(一社)日本建設機械施工協会中国支部との「意見交換会」	会 員

## 編集後記

もう随分浸透してきたかと思いますが、旧暦の10月は出雲地方では全国から<sup>やおよろず</sup>の神様が集まってくる「神在月」と呼んでいます。年に一度の神議を司る<sup>かみはかり</sup>大国主大神と全国から集う八百万の神による縁結びの会議が行われるとの故事に由来します。

一方、鬼は虚しく、悲しい生き物として描かれたアニメ「鬼滅の刃」は空前の大ヒット。コロナにも心があるのなら、好んで感染を広めているわけじゃないのかもしれませんが。

そこで、「大国さまにお願い。今年の神議にコロナも加えてまーるく収まるよう緩やかにwithコロナの時代に導いて貰えないものでしょうか？」

神々の皆様の熱心なご議論で、世の中もまーるく収まりますよう信じて。

令和3年10月発行

編集・発行 (一社)日本建設機械施工協会中国支部機関誌編集委員会

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841

FAX 082-221-6831

<https://jcmachugoku.jp/>

E-mail [jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp](mailto:jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp)